

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	港区
学 校 名	築港小学校
学校長名	河田 靖美

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・築港小学校では、第6学年 13名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本年度の結果、国語科については全国平均と比べると0.8%下回っていたが対全国比は昨年度よりも0.1ポイント改善し全国との差が縮小した。学習指導要領の領域別でみると「話すこと・聞くこと」は8.1%、「読むこと」は9.8%全国平均を上回っていた。「言葉の特徴や使い方に関する事項」は7.7%、「書くこと」については18.2%全国平均を下回っていた。算数科については全国平均と比べて差がなく、対全国比は昨年度よりも0.15ポイント改善した。領域別でみると「測定」で全国平均を10.6%上回っていた。「数と計算」が全国平均を2.7%下回っていた。理科については全国平均と比べると0.9%上回っていた。領域別でみると「地球」で全国平均を5.1%上回っていた。「粒子」で全国平均を2.7%下回っていた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】
「話すこと・聞くこと」「読むこと」は全国平均を上回り、対全国比も大きく改善した「話すこと・聞くこと」は昨年度まで2年連続は全国平均を下回る本校の課題であったが、話し合い活動を校内研究の重点として学習を進めた結果、改善したと考える。しかしながら、「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「書くこと」については全国平均を下回り、本校の課題だといえる。

【算数】
「図形」は、昨年度まで2年連続全国を下回っていたが、今年度は全国平均を2.7%上回った。昨年度までの算数科の研究で図形領域に重点をおいて取り組んだ成果である。誤答が多かった問題は、「数と計算」の単位分数のいくつ分になるかを書く問題や、数直線上に示された数を分数で書く問題であった。

【理科】
正答率が高かった問題は、「地球」「粒子」領域の「土への水の浸み込み」や「温度による水の状態の変化」に関する問題であった。誤答が多かった問題は、「磁石に引き付けられる性質の物質を選ぶ」「レタスの発芽について見出した問題について書く」「電気を通す回路と通さない回路を判別する」問題であった。

質問調査より

【安心・安全】
「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「自分には良いところがあると思う」「友達関係に満足している」「困りごとや不安があるとき先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか」について肯定的な回答が100%、87.5%、93.8%、75.0%と全国平均を上回る水準である。一方、「学校に行くのが楽しいと思う」については肯定的な回答が75%と全国平均よりも11.5%低い結果となった。自己肯定感・安心感は向上してきたが、学校の楽しさについては課題がある。

【教科】
国語科については、「先生は良いところやできるようになったことを伝えてくれますか」「目的に応じて説明的な文章を読み文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つけていますか」の肯定的な回答が全国平均を上回り、「読むこと」の正答率が高くなった要因と考えられる。

算数科については、「どのように考えたのか説明する活動をよく行っていますか」の肯定的な回答が全国平均を上回り、記述式問題の正答率が全国平均よりも5.5%高くなった要因と考えられる。

理科については、「理科の授業において理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか」の肯定的な回答が、全国平均を上回り、主体的な問題解決学習を進めることができていることが分かった。

「ICT機器を授業で活用する」「ICT機器で文章を作成する」「インターネットを使って情報を収集する」「ICT機器を活用して自分のペースで理解しながら学習を進める」については、肯定的な回答が全国平均と比べて21.6%、13%、14.7%、18.8%低く、ICT機器の活用についての課題が明確になった。

【平日放課後・休日の時間の使い方・地域】
「学校以外で平日一日当たりどのくらいの時間勉強しますか」において1時間以上と答えた児童が全国平均より10.2%少なく、「土日」においては、1時間以上勉強する児童は全国平均より15.8%少なかった。「学校以外で平日一日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」では、全くしないと回答した児童が43.8%と、全国平均の29.2%よりも14.6%多く、昨年度に引き続き本を読まない児童が多いことが分かった。「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書を除く)」については、0~10冊と回答する児童が18.8%(全国15.1%)と、昨年度よりも31.2%改善したが、家庭での読書環境に課題があることも分かった。「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることはありますか」では、肯定的に回答する児童が43.8%と全国平均を4.4%上回った。

今後の取組(アクションプラン)

【安全・安心】
児童の自己肯定感を今後も高められるように「いいところ見つけ」や「幸せ宝箱」の取組を続ける。また、運動会や地域と連携した各種学校行事、異学年交流の取組を通して、児童が学校の楽しさを感じられるように学校行事を工夫していく。

【教科】
国語科については、4年生での漢字検定受験を通じて漢字の習得を進めるとともに、主語・述語・修飾語など言葉の特徴やきまりに関する基礎知識が習得できるような指導の工夫を行う。また、複数の条件に合わせて指定の文字数で書いたり、目的や相手を意識して書く活動を授業の中に積極的に取り入れる。また、国語科「読書活動」を校内研究の重点とし、児童が読書に親しめる授業づくりを進める。

算数科については、昨年度までの校内研究で培った話し合い活動の工夫を継続し、全ての児童が自分の考えを説明できるように指導し、内容理解の定着を進める。また、学びサポーターと連携して個々のつまづきに応じた支援を実施する。

理科については、これまで大切にしてきた問題解決学習を継続するとともに、誤答が多かった「磁石」「電気回路」については3年生の段階から知識技能を習得できるよう指導を行っていく。

さらに全教科を通じて、学習者用端末を活用した授業づくりが行えるよう実践交流を進める。文書・プレゼンテーションの作成など児童の基礎的な情報活用能力を伸ばすとともに、ICT機器を自分のペースで活用できる場を増やしていく。

【平日放課後・休日の時間の使い方・地域】
毎月の健康週間・ノーメディアウィーク・学校保健委員会の取組を継続して進め、放課後の家庭での時間の使い方や適切なスマートフォンの使い方について児童が保護者とともに考えられるようにする。港区役所と連携して、週2回校内で民間事業者による「みなと塾」を開催できるようにし、児童の放課後の学びの場を確保する。

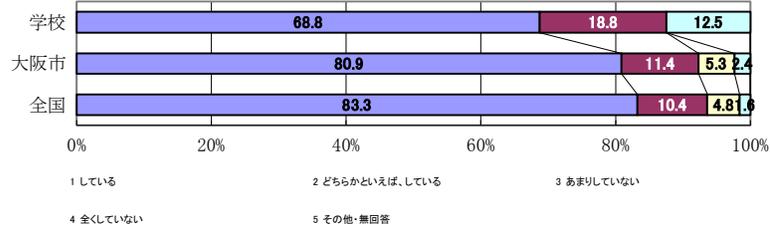
児童質問より

質問番号

質問事項

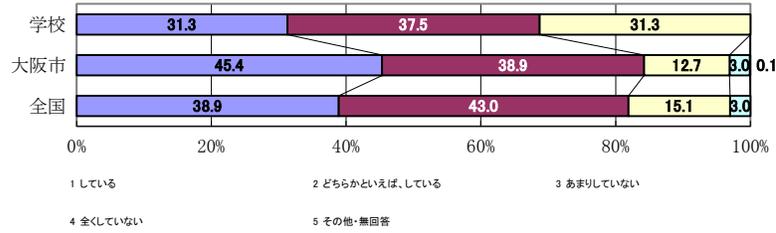
1

朝食を毎日食べていますか



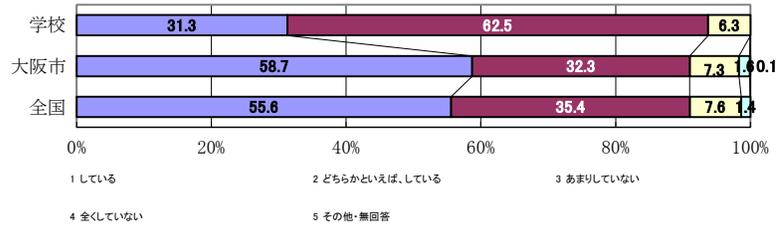
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



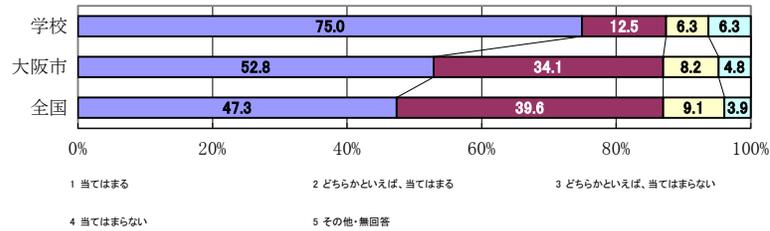
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



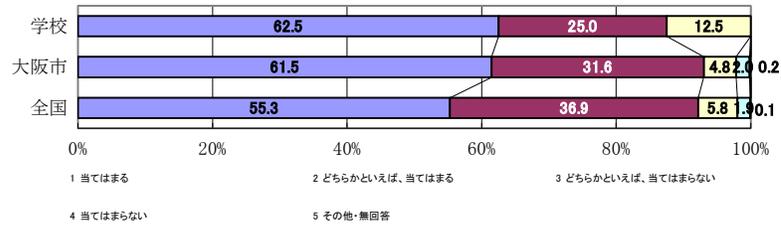
5

自分には、よいところがあると思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



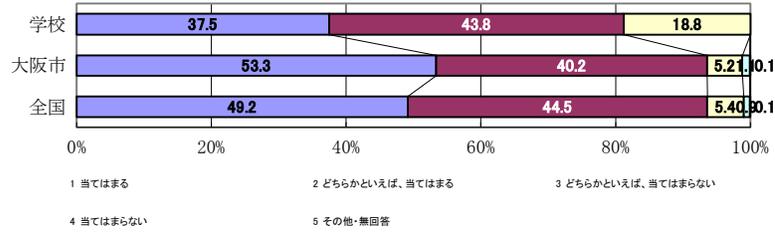
児童質問より

質問番号

質問事項

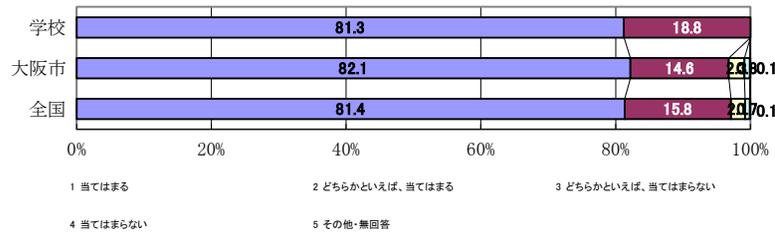
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



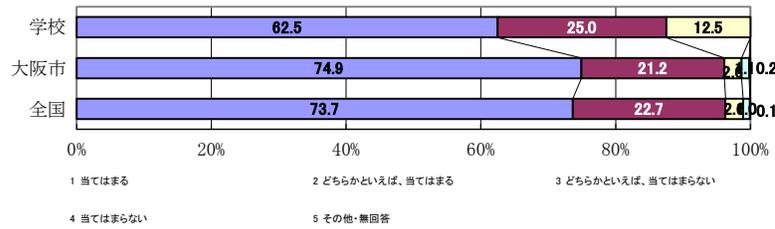
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



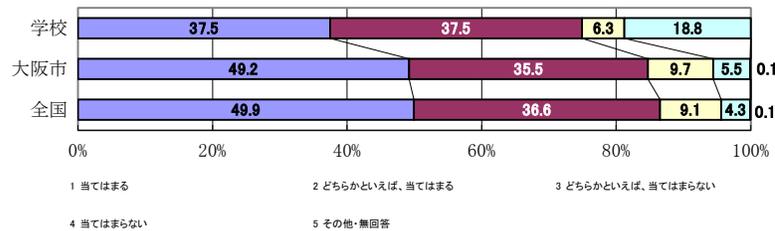
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



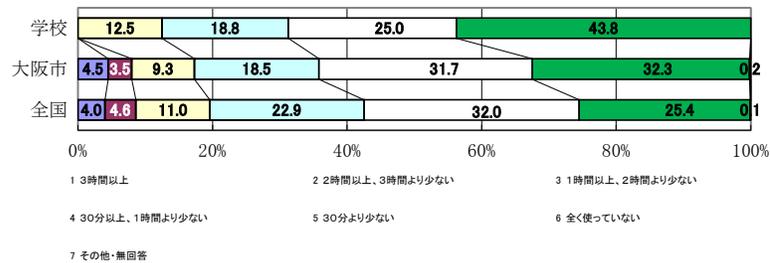
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



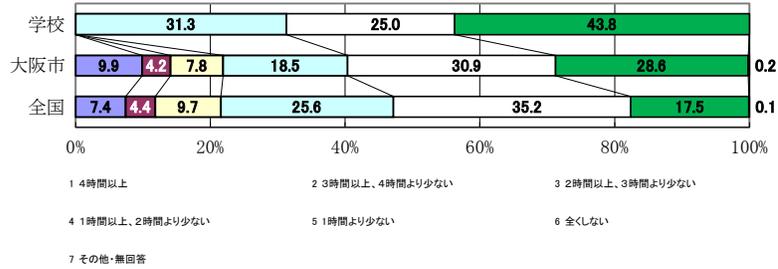
児童質問より

質問番号

質問事項

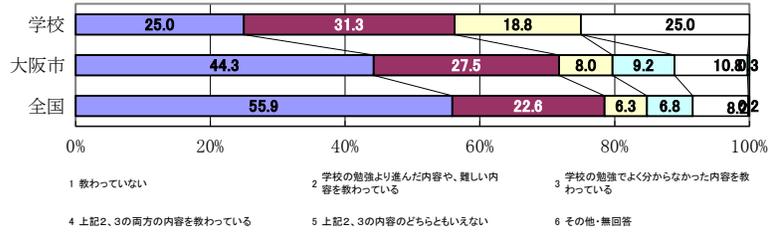
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



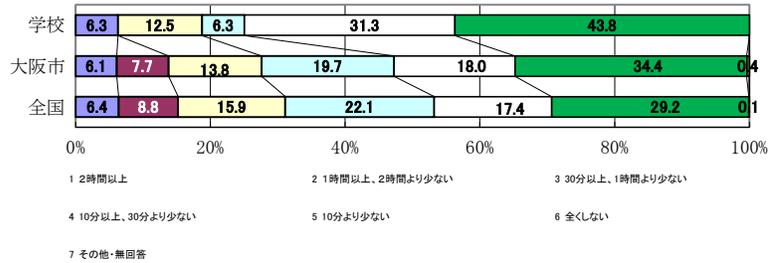
20

学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(オンライン授業の場合も含む)



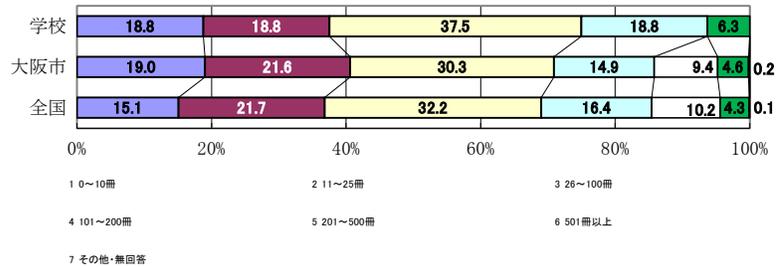
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



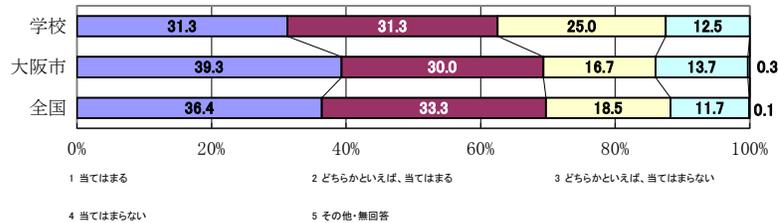
22

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)



24

読書は好きですか



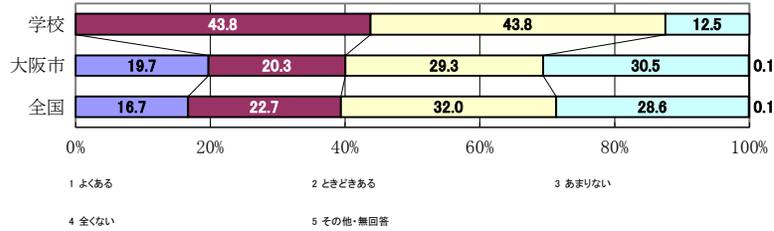
児童質問より

質問番号

質問事項

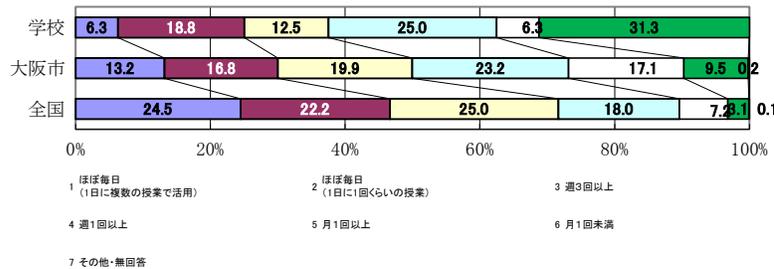
26

地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事は除く)



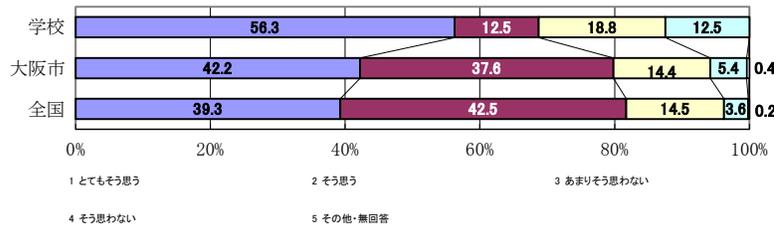
28

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



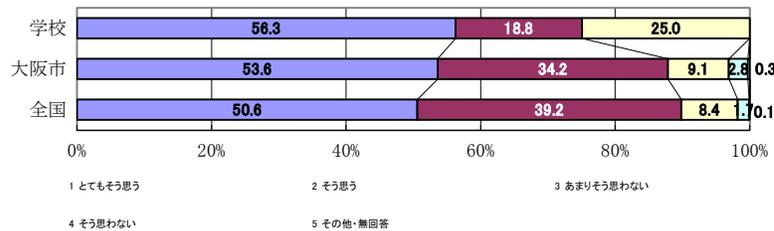
72

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか



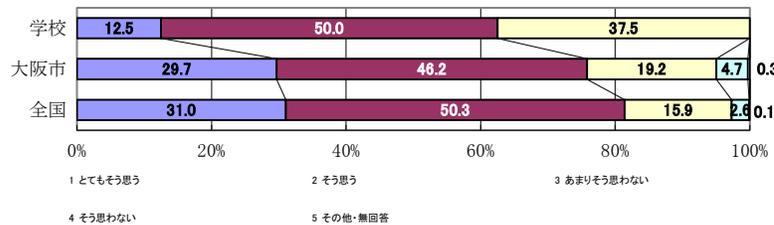
73

あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか



76

5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(1)自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

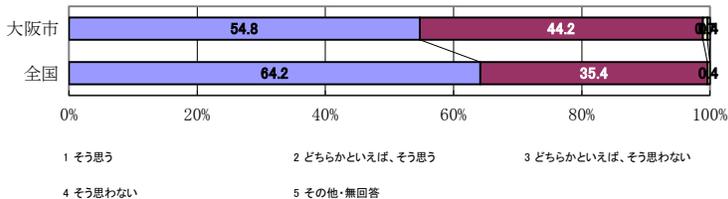
質問番号

質問事項

21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員(支援スタッフを含む)の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

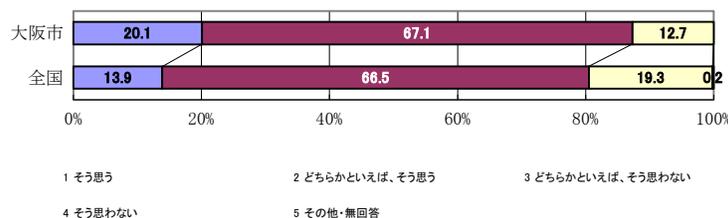
学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

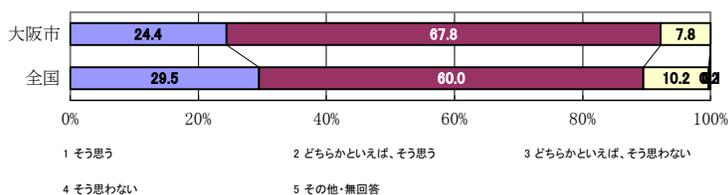
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



40

調査対象学年の児童に対する指導に関して、前年度までに、学習評価の方針を児童に示した上で、児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか

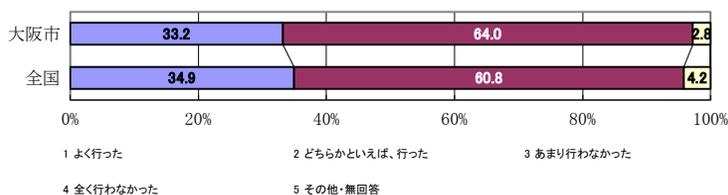
学校 「そう思う」を選択



41

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の授業で、学習状況に即して児童のよい点や進歩の状況を積極的に伝えることを行いましたか

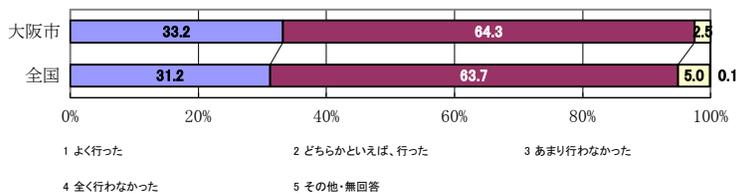
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



42

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の授業で、児童に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

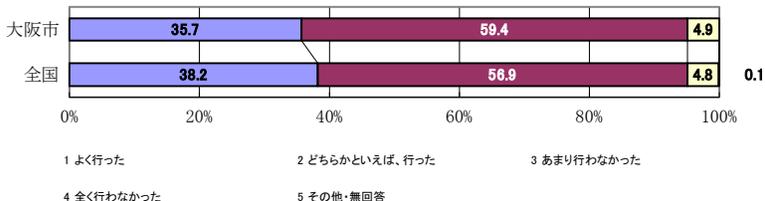
質問番号

質問事項

46

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行いましたか

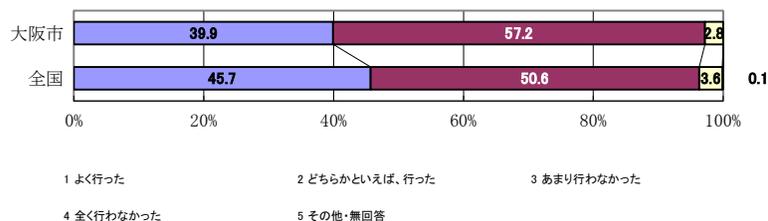
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



47

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

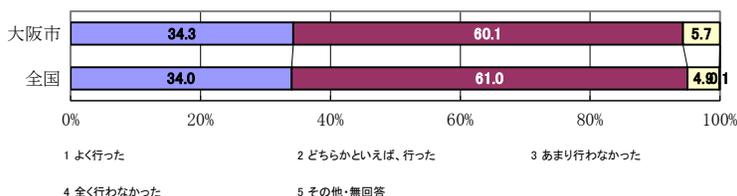
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



49

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、自然の事象・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか

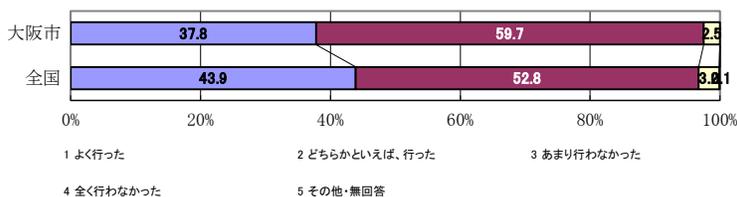
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



51

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、問題に対して、既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想することができるような指導を行いましたか

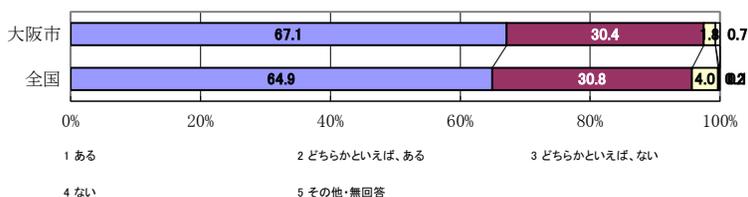
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



56

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか

学校 「ある」を選択

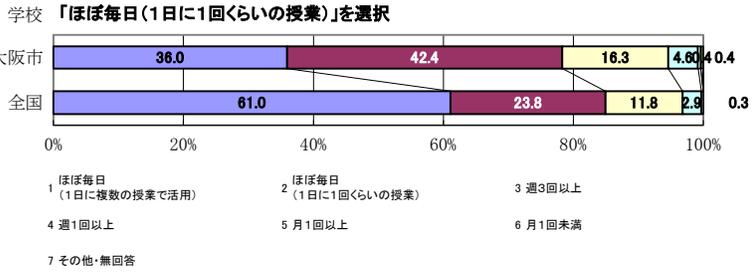


学校質問より

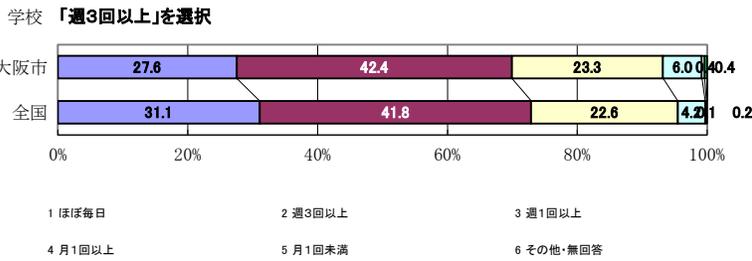


質問番号
質問事項

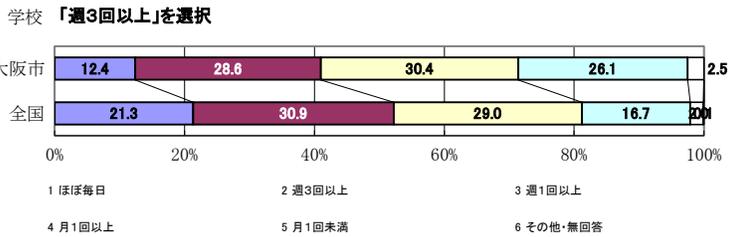
58
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



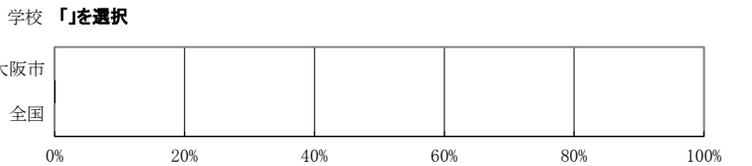
59
調査対象学年の児童が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



60
調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



学校「」を選択



学校「」を選択

